

＜国内クレジット認証委員会の開催方式についての提案＞ 2010. 5. 20
委員長 茅 陽一

1. 現状の問題点

- 1) 事業承認、クレジット認証いずれも件数が大量になっている。
- 2) 委員への資料配布があらかじめ行われているが、委員会の開催までに委員が実際にすべてに眼を通すだけの時間がない場合が多い。
- 3) 委員会の開催日時が不定期でしかも確定するのが開催日に比較的近くなってからである。これでは委員が予定をたてにくいし、事業申請者側でも認証がいつ承認されるか見通しをたてにくい。

2. 提案

- 1) 委員会の開催日時は半年ごとにあらかじめ定める。ただし、例外的に予定外の臨時開催はあり得るものとする。
- 2) 委員会で審議する承認及び認証案件の内容は、委員に一定期間（例えば、1週間）前までに送付する（電子媒体利用）。
- 3) 上程された案件については、これを審査した審査機関の代表者を委員会に参加させ、委員の質問に対応させる。
- 4) 委員会では、案件中事務局側で特徴ないし問題がある、と思われるもののみを事務局が説明する。
- 5) 委員は、承認案件については委員会後一定期間（例えば、1週間）事務局に質問をする権利を与える。事務局は承認案件の処理をその一定期間以後に開始する。
- 6) クレジット認証案件については、委員会で最終認証を与える関係上、委員が資料配布以後委員会開催までの期間に最重要作業として審査を行うことを要請する。